

ジェームズ・T・リチャードソン（法務博士、学術博士）からの声明

私、ジェームズ・T・リチャードソン（法務博士、学術博士）は、米国ネバダ大学リノ校を最近退官した。ここでは社会学・法学研究科の教授として教鞭をとり、国立法学大学（the National Judicial College）と全米少年裁判所／家庭裁判所裁判官協議会が共催していた公判裁判官のための法学大学院のコースで 30 年間、指導主事を務めていた。社会学博士号を 1968 年にワシントン州立大学にて、法学博士号を 1986 年にネバダ大学ロースクールのオールド・カレッジにて取得し、ネバダ州で資格登録している弁護士でもある。

私は 40 年以上にわたって、新興宗教の動向を研究している。30 か国以上で研究発表を行い、中国にも何度か招待されて発表を行ってきた。中国における法輪功や全能神教会といった少数派の信仰についてもかなりの研究を行い、10 冊以上の書籍を執筆し、寄稿記事や分担執筆した書籍の章は 300 本以上になる。世界各国における少数派の信仰を中心テーマとしている。宗教社会学会の会長といった専門機関の役員を担ってきたことから、世界の宗教について研究する世界最大の学際的な研究機関である「宗教に関する科学研究協会 (the Society for the Scientific Study of Religion)」の会長職も務めてきた。オランダではフルブライト奨学金、イタリアのベラッジオ・センターではロックフェラー財団の奨学金の奨学生に選出され、またロンドン経済政治学院 (LSE)、シドニー大学、メルボルン大学、クイーンズランド大学、ウェスタンシドニー大学に客員研究員として招待され、勤務した。

中国には過去 15 年間何度も招かれている。2004 年には中国社会科学院が主催する「宗教の規制」に関する会議をはじめ、複数の学会に招待された。2016 年には北京の中国人民公安大学に招待されて、学生に対して 6 回授業を行い、また中国共産党と緊密な関係がある中国反邪教協会から 2 度中国に招待されて、邪教と全能神教会について議論する機会をもった。中国の政府系メディアはこの訪問を取り上げ、私を世界的に著名な専門家として紹介している（参考：<https://kknews.cc/society/rrr2m8o.html>）。

何年にもわたる研究と学術活動、それに中国でいくつもの学会に参加したことから、中国の法律に詳しくなり、全能神教会などの「邪教」と呼ばれる宗教活動グループについても深い識見を得てきた。中国の刑法第 300 条によると、邪教に積極的に関わることは犯罪である。中国刑法の英語版は、国連へ派遣されている中華人民共和国常駐連合代表団とウィーンに籍を置くその他の国際機関が公開している（参考：<http://www.fmprc.gov.cn/ce/cgvienna/eng/dbtyw/idwt/crimelaw/t209043.htm>）。英訳された第 300 条を邦訳すると、次のようになる。「迷信的なセクト（邪教）、秘密結社、邪悪な宗教団体を組織して利用する者、または迷信を利用して国家の法律および施行規則の執行を妨害する者は、3 年以上 7 年以下の懲役刑に処し、状況が特に深刻な場合は、7 年以上の懲役刑に処する」。中国の反邪教協会が主催した会議において、参加者に対して行われた説明によると、同条文中の邪教を「利用する」とは、実際には「活動する」ことを意味し、これが中国の裁判所による同条文の一貫した解釈だと中国メディアは報じている（参考（例）：<https://bit.ly/2IyldPI>）。中国では、全能神教会の信者とされた者は逮捕され、「再教育」するのに十分な時間、拘禁される、との説明もあった。

セミナーでは最新の「邪教」の定義について検討する機会があり、「邪教」の定義に関しては、2017 年 1 月 25 日に最高人民法院と最高人民検察院が公布した『法律の執行を阻害する邪悪な団体の組織化と活用に関する刑事訴訟法の解釈に係わる問題の解釈』の第一規定で触れられている刑法第 300 条の解釈へと行きついた。それによると、「邪教」とは、「宗教、気功などの名称を騙ることを通じて、その首謀者を神格化および宣伝しすること、または迷信を交えた虚偽を捏造および拡散する、もしくは別の手段を用いて、人々を混乱に陥れたり、欺いたりし、（中略）信者を管理し、社会に害を及ぼす違法組織」と定義されている。（この文書はオンラインで入手可能：http://www.spp.gov.cn/zdgz/201701/t20170126_179794.shtml）。

実際には、中国で邪教とみなされるのは、1995 年以来定期的に更新されている公式邪教リストに含まれる団体である。全能神教会は、リストが更新されても一貫して掲載され続けている（参考：<http://www.china21.org/docs/CONF-MPS-CHINESE.htm>。学術的な考察についての参考：http://www.cesnur.org/2016/daejin_irons_list.pdf）。

結論として、（a）邪教に積極的に関わっている人は逮捕され、（b）全能神教会は邪教として掲載されているので、（c）全能神教会の信者とされた者が亡命申請を却下され、海外から中国に戻ることを余儀なくされた場合、確実に逮捕され、教会の信者であるという事実だけで拘束されることは、火を見る

よりも明らかといえる。そのため、全能神教会の信者に対して、亡命を認める十分なお配慮をしていただくことを、切に願う。その者たちは、中国に帰国すれば、逮捕されて拘束される運命が待ち受けているからである。

提出日：2018年1月24日

ジェームズ・T・リチャードソン（法務博士、学術博士）

米国ネバダ大学リノ校社会学・法学研究科名誉教授